各位

会社名 北日本紡績株式会社
 代表者名 代表取締役社長 粕谷 俊昭
 (コード：3409、東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 篠原 颯二郎
 (TEL. 076-277-7530)

2025年3月期連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2024年5月14日に公表しました2025年3月期連結通期業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2025年3月期通期の連結業績予想数値と実績値との差異 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,462	△15	△6	△12	△0.60
実績値 (B)	1,631	△49	△50	△55	△2.56
増減額 (B-A)	169	△34	△44	△43	
増減率 (%)	11.5	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	1,307	△61	△42	△115	△5.90

(差異の理由)

売上高および営業損益につきましては、紡績事業において一部生産銘柄の入れ替えがあったことで前年同期と比較して生産数量は減少（前年同期比 4.5%減）したものの、前期から進めた価格改定およびアラミド繊維の主力である防護服衣料の順調な受注により、売上高は同水準を維持いたしました。ただし、固定費の削減が進まず、営業利益は減少いたしました。テキスタイル事業においては、前連結会計年度から引き続き中東及び東アジア各マーケットにおけるコロナ禍からの需要は回復し、現地市場における日本製品の需要増加から、売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

一方、リサイクル事業につきましては、リサイクル市場の需要動向は回復に向かい、出荷数量は順調に推移しているものの、当社の工場機械のトラブルによる一時的な生産量低下があったことで原価が上昇したこと、および中国経済の不振継続から販売価格への転嫁が進まなかったことで、営業利益率は大幅に低下となりました。

経常損益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前事業年度と比較して補助金の受給額が減少したことで、業績予想を下回る結果となりました。

以上